

ガクの情コミ学際研究ラボ



テーマ
「暴力」

9/25^土
12:00-17:30

会場

ZOOM ウェビナー参加



「ガク」とは学と楽をあらわしています。

研究・勉強とは楽しいものである

という合い言葉のもと、

情報コミュニケーション学部では、

①社会の〈現在〉を捉える

②多様で学際的なアプローチ

③創造と表現 を3つの柱として、

さまざまな専門分野の教員が研究を推進しています。

その最新成果を学際研究として

学部生・受験生、社会に公開するのが

「ガクの情コミ学際研究ラボ」です。

現代社会は戦争・紛争・テロだけ

ではなく、日常的にも「暴力」があふれて

います。社会の〈現在〉を捉えるためにはこの問題
に向きあう必要があります。はたしてそれは現代社
会固有の問題なのでしょうか、またそもそも人が暴
力を行使するとは、社会との関係からどのような意
味があるのでしょうか。そして「暴力」とはどのよう
に語られ表象されているのでしょうか。

われわれは、それを問いかけてみたいと思います。

I部 人・社会と暴力との関係

「人間にとっての暴力」

石川幹人(認知心理学)

「社会変容と民衆暴力」

須田努(歴史学)

「社会的な現象としての暴力」

宮本真也(社会学)

II部 暴力をめぐる表象

「幕末・明治期の演劇に描かれた暴力」

日置貴之(日本演劇研究)

「暴力として語られるイスラーム」

横田貴之(多文化と相互理解 イスラーム)

「フランスメディアで語られる他者・暴力」

高馬京子(地域文化論 フランス)

III部 総合討論



明治大学情報コミュニケーション学部
School of Information & Communication

